



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第44号(2009年1月13日)



## GCCの財政黒字が過去最高に

2008年前半の原油高の影響により、GCC(湾岸協力会議)6カ国の2008年の原油収入は約6,000億ドルに達し、財政黒字が1981年のGCC設立以来過去最高を更新する見通しとなりました。

GCC各国は2008年の平均原油価格を1バレル40-50ドルと控えめに予想しておりましたが、2008年上半年期の原油価格高騰により、平均原油価格が当初の予想を大きく上回る1バレル100ドル超に達したためです。

国別に見てみると、世界一の原油生産量を誇るサウジアラビアの財政黒字額は、当初見込みの14倍の約1,570億ドルに達した模様です。原油大国クウェートは2008年4月から11月までの8ヶ月間で、約366億ドルという巨額の財政黒字を計上しました。UAEは2008年の数字を公表しておりませんが、専門家によると今年是对前年比10-15%の支出増にも関わらず、それを大きく上回る黒字額を記録した模様です。カタールは原油高に加えてLNGの輸出増が寄与し、大幅な黒字となったようです。また、オマーンも他の国々と同様に支出が増加したにもかかわらず、それを上回る過去最高の黒字額を記録した模様です。2008年はGCC諸国にとって過去に例を見ない特別な年となりましたが、世界的な景気減速の影響を受けて原油価格は昨年の高値から大きく下落しており、2009年の黒字額は大幅に減少する見通しです。



(ミドル・イーストウッド)

出所: Emirates Business247



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## ドバイの新型水上タクシー

ドバイのドバイクリークには、“アブラ”と呼ばれる伝統的な水上タクシーが走っていますが、この度水上タクシーの新型が登場するそうです。

なんとロールスロイス製のジェットエンジンを搭載したもので、定員11名と大きなものではないのですが、約60キロぐらいの

スピードが出るそうです。この新型の水上タクシーは、現在のところ10隻ほどあり、今年の8月から運行開始されるそうです。何十隻もの船が行き交う忙しいドバイクリークですが、一層注目を集めることでしょう。



(グッドバイ)

## 中東のタブーシリーズ②

イスラム教の戒律の厳しいサウジアラビアでは、女性が肌を露わにすることや公共の場でパフォーマンスをすることは許されていません。しかし、そんなタブーに果敢に立ち向かい、秘かに注目を浴びている女性達がいるんです。

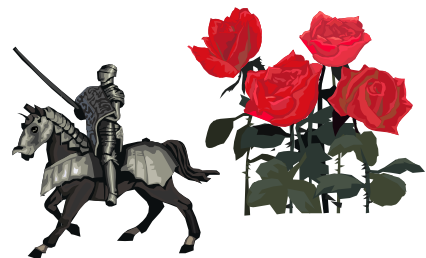
昨年9月、サウジアラビアで、「アコレード(Accolade)」という女性初のロックグループが誕生しました。このグループは女子大生4人組で、ファーストシングルがSNSサイト等を通じてサウジアラビアの若者の人気を博しているそうです。サウジアラビアは人口の50%が25歳以下の若者で構成されている国。

「人とは違うことがしたい」という彼女達の想いが、多くの共感を呼んでいるようです。

まだ公共の場での活躍は難しいようですが、イスラム社会から眉や唇にピアスを施して歌うグループが誕生した、ということは驚きですね。

ちなみに現在、日本のギャル文化が欧米の女性達の間で人気となっているようです。中東に浸透する日もそう遠くないかもしれません。

(マグニチュートー8.2)



アコレードがシンボルとする騎士とバラ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## よくわかる中東情勢①

クリスマス休暇も終わり年の瀬が迫る昨年12月27日、イスラエル軍によるパレスチナ自治区ガザへの大規模な空爆により多数の死傷者が出ました。これは非常に悲しい出来事ですが、中東地域における情報発信を目的とする当レポートにおいて避けては通れない話題であると考えました。そこで、今回から数回にわたって今回の問題の歴史的な背景を基に、なぜ今このような問題が起きているのかをわかりやすく紐解いてみたいと思います。

イスラエル・パレスチナ間の対立は、民族、宗教、政治、経済など、色々な要因が絡み合った複雑な問題です。19世紀末、国家を持たなかったユダヤ人が世界各地で起こった迫害から逃れ、イスラエルの地（パレスチナ）に祖国を作りたいという運動（シオニズム）を起こします。そして英国によるパレスチナ委任統治の終了した1948年、世界中から移住してきたユダヤ人とアラブ系のパレスチナ人との内戦の末、ユダヤ人によってイスラエルがついに独立を宣言しました。しかし、イスラエルにはメッカやメディナと並ぶイスラムの聖地の一つであるエルサレムがあることなどから、周辺のアラブ諸国が強く反発し、第一次中東戦争が起こります。その後も中東戦争は断続的に勃発し、イスラエルのユダヤ人と、それまでこの周辺に暮らしていたパレスチナ人を含むアラブ人との対立は、多くのパレスチナ難民を発生させました。

(ミドル・イーストウッド)

中東和平関連年表

1517年	オスマン帝国がパレスチナの地を支配	1969年	パレスチナ解放機構 (PLO) 結成	2000年	キャンプ・デービッド会談 イスラエル・PLO間の交渉決裂
1800年代末	シオニズム運動 (ユダヤ人が自分達の国を作ろうという運動) 展開	1993年	オスロ合意 (イスラエル・パレスチナ二国家共存)		第二次インティファダ (パレスチナ民衆蜂起) 勃発
1922年	オスマン帝国解体 国際連盟がイギリスの パレスチナ委任統治を承認		以降、幾つかの合意に署名が行われ、和平への機運高まる		再び対立が激化
1948年	英国の委任統治終了、 イスラエル独立宣言			2001年	9.11同時多発テロ攻撃 →イスラエルによる攻撃激化
	第一次中東戦争勃発			2004年	アラファト議長死去 アッバースPLO事務局長が議長に就任
	中東戦争 (第二～第四次) をはじめとする紛争が多発			2005年	イスラエル、ガザ地区から撤退
				2006年	パレスチナ立法議会選挙でハマス勝利
				2007年	ハマスがガザ掌握

出所: 外務省

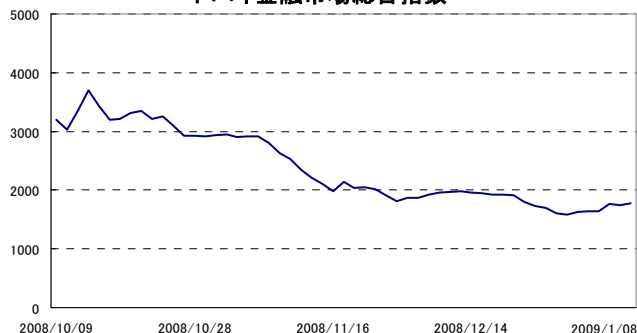


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移  
(各市場の直近3ヶ月)

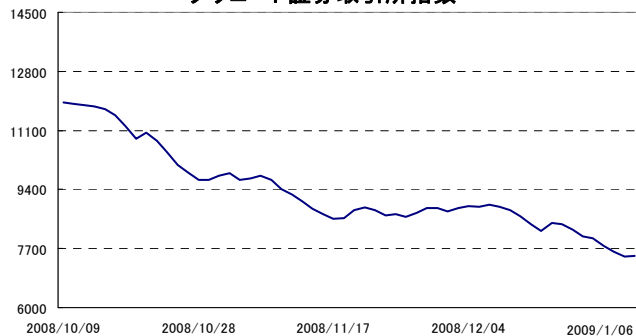
ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数

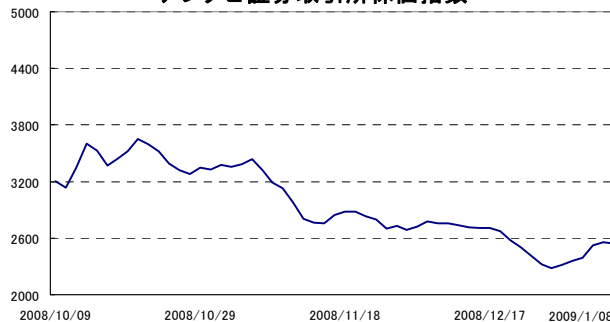


クウェート証券取引所指数



出所:ブルームバーグ

アブダビ証券取引所株価指数



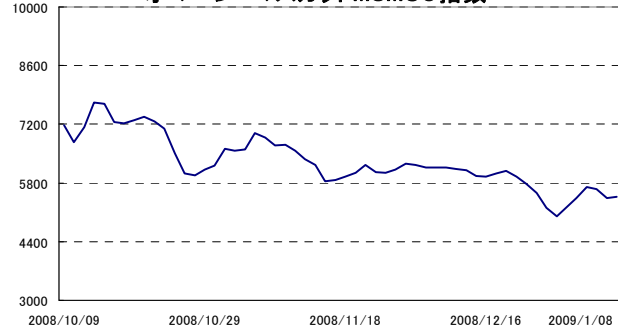
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。